



矢中だより

第16号

令和8年7月17日

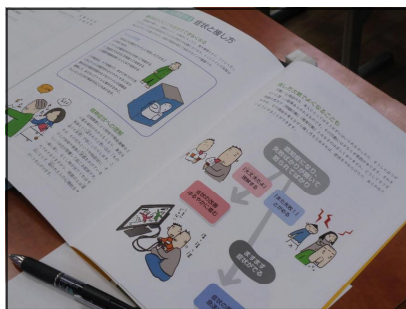
由利本荘市立矢島中学校

認知症について学ぶ～認知症サポーター養成講座～

13日（月）の午後、キャラバン・メイトの方々をお迎えし、1年生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を実施しました。この講座は、認知症について正しく理解し、その知識を広めることを目的としており、多くの中学校でも行われています。

当日は、認知症の原因やさまざまな症状、認知症の方を支えるために大切な心遣いや接し方などについてお話しいただきました。どれも大変参考になる内容で、生徒たちは顔を上げて熱心に耳を傾けながら、必要なことをしっかりとメモしていました。

講座終了後、校長室で講師の方々とお話しする機会がありましたが、「1年生はとても聞く態度が素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。認知症への理解を深めるとともに、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができました。



税金について考える～租税教室～

14日（火）の午後、3年生を対象に、由利本荘市役所職員の方を講師としてお招きし、租税教室を実施しました。社会科の学習の一環として行われ、税の役割や使い道について学び、税が社会や私たちの暮らしを支える大切な仕組みであることへの理解を深めました。

また、「公平な税の徴収」について具体的な事例をもとに話し合い、それぞれの考えを交流しました。授業の終盤では、「1億円分の重さがあるアタッシュケースを持つ体験」も行い、「思ったより重かった」という声が聞かれました。

税金の役割や使い道について理解を深める有意義な学習となりました。



税の徴収率を話し合う



一億円を持ってみる

将来の自分像について考える～進路シンポジウム～

15日（水）の午後、PTA進路指導部主催の進路シンポジウムを行いました。これは現在職業に就いて働いている先輩の話を通して、職業に対する理解を深め、進路選択の参考にするとともに、自分について見つめ直す機会とすることを目的としており、矢島中学校の伝統あるPTA活動の1つです。今年度は両関酒造株式会社勤務の****さんと秋田銀行矢島支店勤務の***さんのお二人を迎え、お話を伺いました。お二人からは各仕事の内容や、学生時代から現在に至るまでを話していただき、「チャンスや機会があるときには一歩踏み出す（挑戦することの大切さ）」や「今現在、夢が決まっていなくても焦らず今を一生懸命生きる」ことを伝えていただきました。生徒たちにとってとても有意義な時間となりました。

企画・準備をしていただいたPTA進路指導部の皆様、ありがとうございました。



いろいろな質問がでました



学年ごとの感想発表



由利本荘市の職場について知る～市ふれあいPR事業～

16日（木）の午前、2年生を対象に「中学生と管内企業のふれあいPR事業（in由利本荘市）」が開催されました。これは、ふるさと教育を基盤としたキャリア教育を通じ、社会的自立や職業的自立に向け、必要な意欲や態度を育成する「由利本荘市」「秋田県由利地域振興局」「由利本荘市教育委員会」「本荘公共職業安定所」主催の取組です。

ナイスアリーナを会場に、市内の企業や法人等のブースに、矢島中生をはじめとした市内の各中学校2年生のグループが訪問し、仕事の説明を聞いたり、質疑応答を行ったりしました。生徒たちは、指定・希望の各ブースをまわりながら、興味のある企業の説明をメモを取り、真剣に聞いていました。

15日の進路シンポジウムに続き、進路選択に向けた情報を得る貴重な時間となりました。



☆今週15日（水）から三者面談が始まっております（～31日）。

各学年の面談計画で日時をご確認いただき、当日よろしくお願いいたします。

